

1-23 各部の基本納まり図

16) その他

⑥ 高さ16mを超える場合の施工方法

- 高さが16mを超える高さの建物に対してはP8の許容風圧力を使用し、耐風圧性能をご確認ください。

平成12年建設省告示1458号に
基づき算出された風圧力



モエン許容耐風圧力(P8)

- モエンを高さ方向に連続して施工する場合は、施工高さ20m以下ごとに中間水切を用いて、緩衝目地を設けます。

■ 金具施工

- 金具施工では、表のように留付金具と専用ビスを使用し施工します。建物高さによらず、一段目から張り終わりまで同じ工法で施工します。

〈木造〉

	留付金具SP (JE1570)	通気留付金具SP (JE1870)	ロング金具Ⅱ (JEL570、570S)	通気ロング金具Ⅱ (JEL870、870S)
金具留付材	専用ビス(ステンレスビスφ4.1mm×35mm)			
留付間隔	455mmまたは500mm(耐風圧性能で安全が確認された間隔)			
施工イメージ				

〈鉄骨造〉

	通気留付金具SP (JE1870)	通気ロング金具Ⅱ (JEL870、870S)	通気留付金具EX + ビス補強
金具留付材	専用ビス(ステンレススネジφ4mm×19mm)		
留付間隔	606mm以下(耐風圧性能で安全が確認された間隔)		
施工イメージ			